

「トントン止まれ 手をあげます！」



「あっ！危ない！」日常生活の中で誰しも一度はそんな場面を経験したことがあるのではないだろうか。

警視庁の統計によると、平成29年4月の交通事故発生件数は全国で15万3490件、大分県では1269件でした。

そんな中、子どもの交通事故を無くそうと、サツポロビル株式会社九州日田工場で交通安全教室が開かれました。

主催したのはサツポログループ物流株式会社九州支社、株式会社モンリクの協賛と、サツポロビル株式会社九州日田工場、株式会社NBBSロジソルの協力で、五和保育園の園児たちが参加しました。

まず初めに大分県交通安全協会日田支部の川述美子さんによる交通安全講話がありました。「トントン止まれ手をあげます 右よし左よし

右よしオーライ！」を合言葉に、模擬信号を使用した横断練習を行いました。

園児たちは「合言葉を忘れないようにする」、「来年小学生になるので気をつけて横断する」、「道路の端をきちんと歩くようにする」など



信号をしっかり見て横断しています

の感想を話してくれました。

続いて、大型トラックとフォークリフトの乗車体験がありました。初めて間近で大きなトラックやフォークリフトを見た園児たちは「凄い！大きい！と目を輝かせ、かっこよく操作している運転手さんたちに憧れの眼差しを送っていました。1人ずつ交代で乗車し、クラクションを鳴らしたりリフト操作をしたりして「ハンドルが大きくてびっくりした」、「タイヤが硬くて大きかった」、「かっこよかった」と話していました。



乗車体験でミッコニコ

トラックなどの大きな車はともかくいいで、その分危険も大きいですが、大型トラックの死角についての説明をした株式会社モンリクの藤川和央社長は「大型トラックを見かけたら絶対に近づかないで下さい。また、前輪のタイヤにも近づかないでください」と子どもたちに呼びかけました。

多くの車が行き交う現代社会。一人ひとりの意識改善が交通事故抑制の大きな力ギとなります。子どもたちの笑顔はみんなの宝物です。子どもたちの笑顔を守るために、交通安全について今一度考えてみてはいかがでしょうか。



大きなタイヤに興味津々!